

# No.9 キーワード： 田植同時施肥・追肥省略、大豆輪作、防除回数削減

農事組合法人たねっこ  
秋田県大仙市

## 基本情報

- ・ 気候：日本海側気候
- ・ 土質：細粒グライ土
- ・ 組合員：134人
- ・ 常時雇用：15人
- ・ 臨時雇用：1人・日

品目	作付面積	平均区画
主食用米(移植)	130ha	1ha
水稻原種ほ(移植)	13ha	1ha
水稻採種ほ(移植)	40ha	1ha
大豆	77ha	—

## 経営方針(重視・優先していること、こだわり等)

- ・ 水稻・大豆の土地利用型農業を主体として、野菜等の組み合わせにより労働の場の提供と収益確保を目指す
- ・ 水稻については、契約栽培により特別栽培米を生産し、高付加価値化

## 稲作の施肥・防除におけるコスト低減の取組

### ・ 肥料

①有機入り基肥一発肥料の側条施肥  
減化学肥料(県慣行50%以下)と省力化

### ②大豆とのブロックローテーション

水稻と大豆のブロックローテーションを基本とした作物毎の団地化による省力化、大豆作後の肥料費の低減

### ・ 農薬

#### ①育苗期の箱施用剤を中心としたいもち病対策

本田の穂いもち防除省略による減農薬(県慣行50%以下)と省力化

#### ②初・中期一発除草剤の田植同時散布

2成分剤を基本とした減農薬の取組と省力化

## 導入効果

### ・ 施肥

肥料費 ▲約5割

労働時間 ▲約6割

(地域慣行の水稻連作、化学肥料分施体系との比較)

### ・ 防除

農薬費 ▲約2割

労働時間 ▲約5割

(地域慣行の防除体系との比較)

## 支援体制

- ・ 取組のきっかけは、設立当初から安全安心な農作物生産に取り組んでおり、その方針がイオン(株)の販売戦略と合致したことによる
- ・ JA秋田おばこによる、栽培技術指導(独自の栽培暦作成等)等の支援

## 課題・今後の目標

- ・ 将来的には、ICT(情報通信技術)等を活用した、ほ場毎の労力や資材の投入量管理等のデータ化により、更なる生産コスト低減を図りたい



イオン特別栽培米(袋)